

平成29年度 練馬区立立野小学校 学校評価の報告

春暖の候、保護者、地域の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年末は学校評価のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この度、平成29年度の学校評価につきまして、学校関係者評価委員会を開催し評価結果の取りまとめを行いましたので、ご報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員会について

- (1) 開催日時 平成30年2月20日(火) 午前10時30分～午前12時30分
 (2) 開催場所 本校応接室
 (3) 評価の流れ

- ① 学校が、平成29年度練馬区立立野小学校経営計画に基づき、教員が自ら行った評価・保護者アンケート・児童アンケートの結果を考察し、改善策を策定する。
 ② 結果と考察、改善策について、学校関係者評価委員会で検討する。

2 評価結果の取りまとめについて

- (1) 学校関係者評価委員会での検討を経た評価結果の取りまとめを公表する。
 (2) 練馬区教育委員会に報告する。
 (3) 次年度の本校教育課程編成に生かす。

3 評価者等について

- (1) 教員 ① 実施時期 平成29年12月中旬実施(年間を通じた評価)
 ② 実施人数 16人(全学級担任・専科・養護教諭等)
 ③ 方法 質問紙法による
 (2) 保護者 ① 実施時期 平成29年12月上旬実施
 ② 有効最多回答数 324人(在校児童の77.3%)
 ※項目によって有効回答数が少ない場合もあります。
 ③ 方法 質問紙法による
 (3) 児童 ① 実施時期 平成29年12月中旬実施
 ② 実施人数 272人(3～6年生児童)
 ③ 方法 質問紙法による

4 評価項目について

評価は、4段階で行う。

- (1) 教員 4段階の評価基準にあてはめた回答
 (2) 保護者 4=とてもそう思う 3=そう思う 2=あまりそう思わない 1=そう思わない
 (3) 児童 4=とても 3=だいたい 2=あまり 1=ぜんぜん

5 根拠となる資料

(1) 評価項目別

評価者	評価項目-1	()内は 昨年度	評価結果
教員	相手を意識して、話を「よく聞く」ことができるように、学年・学級に応じた取組を行う。		3.13 (3.00)
保護者	話の聞き方をしっかり指導しながら授業に取り組んでいる。		3.15 (3.30)
児童	私たちが見通しをもって取り組めるように授業の計画について教えてくれる。		3.38 (3.66)
考察	<ul style="list-style-type: none"> 学級指導や各学習の時間に、大切な学習規律として「話をよく聞く」ことの指導に努めた。 毎週月曜日の全校朝会や音楽朝会、児童集会や避難訓練など、大勢が集まる際のルールとして、集まったらおしゃべりをしないことや、話をしている人の方に体を向けることを、全校で指導した。 教員は、実践していると感じているが、保護者や児童は昨年度ほど感じていない。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、全校での集まりや学年での集団行動等において、「黙って集合する・話をよく聞く」ことは、立野小のルールであることを、児童に徹底させていく。目と耳で開けるようにさせるため、学校生活全般で話を聞く姿勢を重点的に指導する。 今後も、学年の発達段階に合わせた話の聞き方の指導を継続して行っていく。 		
【学校関係者評価】			
・特にご意見はありませんでした。			

評価者	評価項目-2	()内は 昨年度	評価結果
教員	様々な表現方法を使って自分の考えを伝えられるように、学年・学級に応じた取組を行う。		3.20 (3.00)
保護者	授業の中に、話し合い活動の時間や考えを書いたりする時間を設け指導している。		3.33 (3.36)
児童	授業の中では、自分の考えや感想を書いたり、友達と話し合ったりする時間を設けてくれている。		3.51 (3.71)
考察	<ul style="list-style-type: none"> 研究教科の体育だけでなく、各教科の学習や活動など、学校生活を通して、児童相互の考えを交流する時間を大切に授業展開に努めた。 交流活動(話し合い活動)はいろいろな教科で取り入れた。また、自分の考えをノートにまとめ、書いたことを基にしてそれを交流活動につなげるなど、活動の展開を工夫をした。 今年度も、授業の終わりに振り返りの時間を確保して、自分の考えや感想を書いて次時の学習につなげられるように指導した。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> 学年の発達段階に応じ、児童が取り組みやすいように、朝の会や帰りの会等の授業時間以外の時間においても、話形を揃えたり、話の手順を示したりして、苦手意識を軽減し発表への意欲が高まるよう継続して指導していく。 交流のねらいや内容がよく分かる掲示物等の工夫に努める。 今後も、児童相互の学び合いを充実させるために、学習や活動の中に交流の時間を意識的に取り入れる。 級友の様々な表現方法を広められるように教材研究をすすめ、意識して指導する。 		
【学校関係者評価】			
<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見や考えを発言する力が、これからの教育に必要なだと考える。 			

評価者	評価項目-3	()内は 昨年度	評価結果
教員	授業の始めにめあてを示し、終わりに振り返りを行い次時の授業に生かす。		3.53 (3.13)
保護者	学習のめあてを児童に示して授業を行い、めあてに沿った評価を行っている。		3.28 (3.36)
児童	私たちがめあてをもって学習に取り組めるようにしてくれている。		3.57 (3.69)
考察	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は特に、体育と算数の学習において、単元全体の学習計画を立て、めあてに沿った指導と評価、めあて達成のための指導・支援の工夫に努めた。 めあて・まとめを書くことによって、児童に一単位時間の学習の振り返りをさせることに努めた。 学習のめあては示しているが、振り返り(まとめ)については教科(単元)によって不十分なきががあった。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も、学年に応じ1時間の学習の始まりやまとめの仕方を工夫し、実践する。 板書の工夫によって、1時間の学習の流れ全体が分かるようなまとめ方に努める。 学習のめあてを達成するために、継続して個別的指導や個に応じた対応の充実を図る。 来年度も、教科担任制や交換授業を継続し、めあてに沿った学習の充実を図る。 振り返りまで含めた時間配分を意識して教材研究を行う。 		
【学校関係者評価】			
<ul style="list-style-type: none"> めあてとは、どういうことか。→1時間授業の中でねらいとするもの。 子供たちは、授業の中身が分かると興味がわいてくるのではないか。 			

評価者	評価項目-4	()内は 昨年度	評価結果
教員	挨拶と返事をする習慣を身に付けさせる。		3.19 (2.53)
保護者	児童が進んで挨拶をしたり、名前を呼ばれたらしっかり返事をするよう指導している。		3.25 (3.30)
児童	私たちが進んであいさつや返事をするように気を付けてくれている。		3.51 (3.64)
考察	<ul style="list-style-type: none"> 校長室前では、自ら元気に挨拶をする児童が増えている。 年間を通し、学年ごとで実施した挨拶運動では、児童が分担して校門で他の児童を迎え、挨拶する体験をさせることで、挨拶の大切さや挨拶をした時のすがすがしさなどを実感できるよう努めた。 挨拶や返事をする習慣は概ね身に付いてきているが、様々な場面で進んで挨拶のできる児童にしていきたい。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、年間を通し、挨拶や返事をする習慣を身に付けさせる指導、援助を繰り返し行う。また、生活指導の目標として取り組む等、常に児童に意識させるような工夫を継続して行う。 来客・来校者に対する挨拶も積極的にを行うよう指導していく。 学習規律や集団行動での返事について引き続き指導していく。特に、呼名時の挨拶を徹底するよう教職員に働きかける。 来年度も、毎朝の出席状況報告活動を実施し、管理職による児童への挨拶、マナー指導を継続して行う。 挨拶や返事は、「元気よく」を目指しているが、場に応じた声の大きさでできるように指導していく。 		
【学校関係者評価】			
<ul style="list-style-type: none"> 設問(児童)「気を付けてくれている」の表現は、おかしいのではないか。→児童の立場からの設問になるので違和感はあるが、今後検討する。 校内で会うと元気にあいさつを返してくれる。 校外で児童に会って「まっすぐ帰りなさい。」と、声をかけると素直に聞いて帰っている。 			

評価者	評価項目-5	()内は 昨年度	評価結果
教員	いじめの早期発見に向け、年3回の「学校生活アンケート」を実施し情報を学校全体で共有するとともに、組織的にその解決を図る。		3.19 (2.93)
保護者	児童が安心して学校生活を送れるように見守ってしてくれる。		3.24 (3.45)
児童	困ったことや心配なことがあると声をかけてくれたり、相談にのってくれる。		3.08 (3.10)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回のアンケートの結果から、児童間の人間関係や悩みを把握することができ、トラブルの芽をつむことができた。また、休み時間には子供たちと一緒に遊ぶなどの活動を通し、日常から、子供同士の人間関係などの把握に努めている。 ・専科教員や他の職員も、担任と同じ歩調で目配りや指導に努めた。 ・校内では、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、学校生活支援員と連携して児童理解に努めた。また、学校教育支援センターや子ども家庭支援センターなど、関係機関との情報交換を密に行った。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、児童間の人間関係や行動に対して目配りし、わずかなサインも見落とさないように児童理解に努める。 ・情報の把握と共有のために、年3回の学校生活アンケート実施後の指導を確実にを行い、未然防止・早期発見に努める。また、いじめや不登校等に関する研修を実施し、児童に対する観察力・理解力の向上を図る。 ・来年度も、校内支援委員会での協議や、スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・学校生活支援員と連携し情報交換を密に行い児童理解に努める。 ・言葉遣いについては、見逃したり見過ごしたりすることがないように、全教職員が即時、毅然とした態度で指導する。 ・保護者や外部機関との連携を密にしていく。 		
【学校関係者評価】			
<ul style="list-style-type: none"> ・どのようにいじめを発見したり、未然防止をしたりしているのか。→年3回の学校生活アンケートの中で自由に記述してもらい、担任が聞き取り、気になる事案は、管理職が個別に聞き取りをしている。 ・学校応援団ひろば事業でスタッフを呼ぶとき「スタッフさん」か名前で呼ばせるようにしている。 			

評価者	評価項目-6	()内は 昨年度	評価結果
教員	年間を通じて読書活動を継続し、計画的に学校図書館を利用させる。		2.67 (2.23)
保護者	児童が進んで読書をしたり、学校図書館を利用したりするよう指導している。		3.12 (3.13)
児童	読書を勧めたり、学校図書館を利用しやすいようにしたりしてくれている。		3.21 (3.30)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ、あらゆる場面で学校図書館利用の充実を図るよう努めた。読書の量(冊数、ページ数)には個人差があるので、本に親しむように努めさせながら、読書活動を進めた。しかし、読書好きな児童とそうでない児童との差が大きく、指導の難しさを感じている。 ・本年度も、読書活動協力者を依頼し、図書室の整備・蔵書の整備・読書環境づくりを継続的に進め、学校図書館ボランティアの指導・援助を行い、図書室や学級文庫が整えられることができた。来年度も、同様に依頼して読書活動の充実を図りたい。 ・保護者の図書ボランティア「よみママ」活動や学校図書館ボランティアが定着している。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校の特色ある教育活動のひとつに、「読書活動の推進」を位置づけ、児童への啓発、体験活動を継続して行っていく。 ・学校全体で、読書が習慣化する活動を計画、実施する。「金曜日朝読書(スタディールーム)」等の活動を実施していく。 ・読書月間の充実を図り、多様な読書活動を体験させる。(読み聞かせ、ブックトークなど) ・保護者が主体となる学校図書館整備ボランティア活動の支援をしっかりと行う。 ・図書室で本を借りても読んでいない児童もいるので、貸出記録によって、本の紹介をさせるなど、交流の時間をとるよう工夫する。 		
【学校関係者評価】			
<ul style="list-style-type: none"> ・図書を返すタイミングが分からない。→図書の時間だけでなく、図書委員会の活動日にも返すことができる。 ・児童数に対して蔵書が少ないのではないかと。→学級保管の本や近隣図書館から借りた本を学年保管して活用している。 ・毎週1回の図書の時間を確保してほしい。→中学年以降国語の時間が少なくなるので、時間の確保が特に高学年は難しい。単に図書の時間として利用するのではなく、調べ学習等でも活用している。 			

評価者	評価項目-7	()内は 昨年度	評価結果
教員	中休みは、全校児童を校庭に出し、様々な運動を経験させる。		3.33 (2.82)
保護者	児童が運動に親しむようにしている。		3.24 (3.37)
児童	中休みや昼休みは、外遊びができるように時間を確保してくれている。		3.56 (3.68)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通し、休み時間は外で遊ぶように指導・啓発を継続して行った。特に、中休みは全員外で遊ぶように指導した。 ・なわ跳びや持久走など、具体的な目標がはっきりしている運動ほど、よく外に出て遊んでいる。 ・教員は、子供たちと一緒に遊んだり側で見守ったりして、児童を励ましていた。 ・体力・運動能力調査の結果から、投げる力の向上に力をいれ、休み時間の遊びの中に、投げる遊びを取り入れた。 ・今年度は、全学年が参加する「タテノンピック」を昨年度以上に充実させ、児童に新たな遊びを紹介した。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、休み時間は外遊びの励行を継続して行う。 ・なわ跳び、持久走は体力づくりとして定着してきたので、今後、なわ跳びや持久走に加え、全校で取り組める体育的活動を工夫し取り入れて、児童の体力向上に努める。 ・今後も「タテノンピック」を継続して取り入れていく。児童主体で活動できるように、内容や運営の見直しをしていく。 		
【学校関係者評価】			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日の中休みにタテノンピックを入れていることについて自由に遊べないという子供の意見がある。反対に、あまり外に出たがらない6年生女子にとっては、具体的に決まっていると取り組みやすい。 			

評価者	評価項目-8	()内は 昨年度	評価結果
教員	学校・学年だよりは毎月発行し、学級だよりも毎月1回以上発行する。		3.17 (2.81)
保護者	学級だよりを発行し、児童の様子等を知らせている。		3.25 (3.53)
児童	学級だよりなどで、私たちの様子をおうちの人に知らせてくれている。		3.42 (3.77)
考察	<ul style="list-style-type: none"> 学校・学年だよりは毎月発行した。特に、学校だよりでは、児童の学習、生活の活動場面を、写真資料などを使って紹介し、伝えることができた。また、ホームページの更新もこまめに行うことができた。 学級だよりの発行については、学級間に差があり、教員の自己評価にも差が現れた。発行回数の点だけでなく、内容を重視した便り等の作成に努める。 学校と家庭が連携、協力して教育にあたるために、学校生活や児童の様子を保護者に伝えることは重要である。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も、情報発信は、学校・学年・学級だより等の紙面とホームページの双方から発信していく。 学級だよりは、年度当初に個人の目標を立て、目標達成を目指して行う。学期ごとに見直しを行う。 保護者会・個人面談等では、児童の様子への伝え方を工夫し、質の高い情報交換が行えるように努める。 伝達が必要な情報については、来年度も、区学校連絡メールやホームページも活用し、迅速かつ的確に伝える。 写真資料等、活用する方法が難しくなっていることを考慮し、有効活用を模索していく。 		
【学校関係者評価】			
<ul style="list-style-type: none"> 学級だよりの発行が学級によって違いがあるのはなぜか。→学級だよりについては、出せるときに出すようにしている。 この項目の質問では、学級便りを出していない学級では答えることができないし、必ず発行されるものと捉えてしまう。→この項目自体の見直しを検討する。 学校だよりを見ると、学校の進んでいく方向がよく分かる。 			

評価者	評価項目-9	()内は 昨年度	評価結果
教員	専門家や地域人材をゲストティーチャーとして招いたり保護者ボランティアに授業の協力を依頼したりする。		3.43 (2.81)
保護者	ゲストティーチャーや学習ボランティア（保護者を含む）等、外部の方と連携して教育を進めている。		3.19 (3.27)
児童	私たちの学習のために、ゲストティーチャーやボランティアの方を呼んでくれる。		3.46 (3.42)
考察	<ul style="list-style-type: none"> 学年の学習内容と時期に関連させて、計画的に外部への協力を依頼している。 ゲストティーチャー等の外部講師等による学習は、全学年で実施した。 保護者ボランティアについては、学年の学習内容によって依頼数に差はあるが、1・2年生では道具作成の補助や校外学習での安全管理など、様々な場面でご協力いただいた。学校だよりの3月号の中面で紹介する予定である。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、児童の学習内容に関連した体験的学習を味わわせるよう努める。 保護者ボランティアについても、校外学習時での安全管理や子供たちの作業補助などでご協力をいただく。 区の地域人材活用事業の計画・推進を、地域の皆様のご協力をいただきながら、永続的な事業となるように進めていく。 学習ボランティアの確保については、今後も継続していく。 		
【学校関係者評価】			
<ul style="list-style-type: none"> 沢山のゲストティーチャーを招いて体験型の学習は、今後も継続してほしい。 次年度からの区の地域人材活用事業の計画・推進を、地域の皆様のご協力をいただきながら、永続的な事業となるように進めていきます。 			

保護者からの自由記述 (同内容のものはまとめてあります)

ア 継続・発展を望む意見

児童の様子から	<ul style="list-style-type: none"> ○子供が、学校にも慣れ授業も楽しい。担任の先生始め、諸先生方や同級生のおかげだと思ふ。 ○子供がいつも楽しく学校に通っている。問題があったときすぐに対応していただき感謝している。 ○担任の先生のおかげで、子供がぐんと成長した。 ○子供たちが落ち着いて学習に取り組みやすい環境である。 ○子供たちは、充実した学校生活を送っている。 ○教職員は、子供のことをよく見ている。
学校の雰囲気 教職員の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○トラブル発生時には、学級だよりで先生の考え、対応、防止策が記載されて気持ちが落ち着いた。 ○子供一人一人を尊重して、よい方へ引っ張ってくれている。子供の先生への信頼は大きい。 ○休み時間等何人もの先生が子供と遊んでいていいなと思った。先生が子供の身近にいると感じた。 ○担任ばかりではなく、学校職員みんなが優しく声をかけてくれていてありがたい。 ○子供一人一人に考えさせる授業が多く、学校の話の聞いたり参観したりすることが楽しい。 ○子供の不安要素の相談に親身になって対応してくれた。学校と家庭の協力が大切だと思ふ。 ○学校公開のたびに落ち着いていくクラスを見て、担任の力の大きさを改めて感じた。 ○学級だよりが定期的に発行されて、学級の様子や友達のことが分かりありがたい。
学 習	<ul style="list-style-type: none"> ○校外学習や防犯・SNS リスク等、おもしろそうな授業が多くてよい。
行 事	<ul style="list-style-type: none"> ○子供が学校のことを話さなくなったので、学校公開はありがたい。 ○たくさんの行事を通して、大切なことを学ばせてもらっていると感じる。 ○4年生の学芸会は素晴らしい出来栄だった。

本校の教育活動をいつも支えていただき、ありがとうございます。また、教職員への励ましの言葉も多数いただきました。今後も、子供と共に過ごす時間を大切に、「よく分かる授業」「充実した授業」に努め、一人一人の個性やよさを大切にする教育を続けていきたいと思ひます。

また、「豊かな心とつよい体」を育てるために、教職員一丸となって、道徳教育やたてわり活動、体育的活動などに、より一層力を入れていきます。保護者の皆様へ協力をお願いすることもあると思ひます。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

イ 改善を望む意見・質問 等

	ご意見・ご質問	学校からの回答
学級経営 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の私語・立ち歩き等、集中して学習ができないことがある。 ・子供を指導する際、言葉遣いや口調を選んでほしい。 ・子供が学校の話をしなくなり学校の様子が伝わってこない。知らせがあれば家庭で指導もできる。 ・補習等で休み時間遊べないときがある。 ・挨拶をしても返さない子がいる。 ・落とし物について処分だけでなく対策を考えてほしい。 	<p>ご心配おかけして申し訳ありません。授業規律や生活規律を強制的ではなく、自主的に守ることができる児童を目指します。その過程では、「だめなものだめ」という毅然とした態度で臨む必要があります。全教職員一丸となって取り組んでいきます。ご家庭と共同して、児童の健全育成を目指していきたいと考えています。そのためには、保護者の方のご理解ご協力が欠かせません。よろしくお願ひいたします。</p> <p>言葉遣いに関しましては、申し訳ありません。気を引き締めて教育活動に当たっていきます。</p> <p>ご家庭に協力を願ひたいときには、必ず連絡を差し上げます。</p> <p>補習等のあり方を検討していきます。</p> <p>自主的に挨拶ができる子を目指します。ご協力お願ひいたします。</p> <p>物を大切にする観点を再検討し、指導に生かします。</p>
学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業に力を入れてほしい。 ・言語を正確に教えてほしい。 ・宿題の量が少ない。 ・体力テストに道具の準備をしっかりしてほしい。 	<p>カリキュラムの関係上、英語の授業時数を増やすことはできませんが、来年度も配置される予定の ALT と共に5・6年生の英語活動や3・4年生の外国語活動を充実した活動として進めていきます。</p> <p>見落としの無いように、細心の注意を払っていきます。申し訳ありません。</p> <p>宿題は、学習進度や児童の理解度によって多少異なります。自主学習の形で、自分のペースで量的に増やし進めていく方法もあります。</p> <p>道具の管理・準備には細心の注意を払っていきます。申し訳ありません。</p>

学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会では、児童が教室でお弁当を食べるようにしてほしい。場所の確保のため朝から家族総出で落ち着かない。 ・ランランタイムの時、感染症の時期でもあるので汗拭きと手洗い・うがいを徹底してほしい。 	<p>運動会のお弁当は、立野の広い校庭で家族仲良く食べていただきたと考えています。お弁当を共にして会話を楽しみながら絆を深めていただくことも目的の一つです。場所取りについては、学校でも憂慮しています。お互いに譲り合う気持ちを大切にしてくださいことを望みます。</p> <p>汗拭きと手洗い・うがいの徹底は、今後も継続していきます。</p>
図書	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の時間の確保や借りる本の冊数を増やしてほしい。 	<p>学習内容の関係で純粋な図書の時間にならないこともあるため図書の時間が減っているのは事実です。しかし、学校生活の中で区立図書館やボランティアの皆様のお力を借りて図書に親しむ活動を多く取り入れております。今後も読書活動には、重点を置いて進めていきます。</p> <p>蔵書数及び予算に限りがありますし、子供たちの嗜好もありますので、この点も考慮して検討していきます。</p>
学級編成	<p>教員がどのような研修を受けているかわかりにくい。現担任はよいが、他の教員となると次年度が不安になる。</p>	<p>学級編成は、学校運営の中で最も大事な事だと考えています。学年の様子や子供たちの将来をも考慮して適切に編成していきます。</p>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のHPの更新が減ってしまったのは残念。 ・学級だよりで学級の様子(高まっていく学級の様子や問題点も含めて)を伝えてほしい。 ・保護者会等で学級の様子を知らせてほしい。悪いことを隠しているように思われる。 	<p>プライバシー保護の観点からも、今後は写真等の公開は慎重にならざるをえません。しかし、写真販売がない活動の様子等はプライバシーに配慮しながら掲載するようにしていきます。</p> <p>学級だよりは、年度当初に個人の目標を立て、目標達成を目指して行っています。</p> <p>保護者会等では、よい面ばかりではなく改善面も含め児童の現状を伝え、共同して児童の健全育成を目指していきます。</p>
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・北校舎やプールのトイレ改修を行ってほしい。 	<p>長年の懸案事項です。区の方針で順次改修工事が進められている教育委員会主導の大規模工事扱いになります。今後も継続して、早期に改修・改良工事を行っていただくよう要望していきます。それまでの期間、子供たちが快適に過ごせるように、できる限り最善の努力をしていきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
その他	<p>植物の鉢は、プラスチックでエコでないので、陶器のものにしてはどうか。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。おっしゃる通りです。しかし、植物観察は、自分の植物を育て、その成長記録を取る個人の学習として進める活動です。移動も必要になることを鑑みると、現在のものを使用していきたいと考えます。鉢は、持ち帰ったのちご家庭でも活用いただけると発展学習にもなると思います。</p>
	<p>給食の時間くらい楽しくさせてほしい</p>	<p>学校での給食時間は、給食指導の時間です。楽しい会食(場に応じた楽しい会話を愉しむ等)や食事のマナー(時間の厳守や食べ方等)、その他食育に関する知識を学場でもあります。これらの趣旨を踏まえて、楽しい時間を創造します。</p>

今年度も、学校評価アンケートへのご協力をいただき誠にありがとうございました。この他にも、学習習慣に関することや、お子さんの学校生活に対するご心配やご要望などについてご意見をいただきました。その内容にてきましては、担任もしくは担当者と共に、今後の対応について検討いたしました。いただきました率直なご意見・ご感想については、今後の教育活動の中で改善を図っていくことにご期待に応えていきたいと考えております。家庭と協力して児童の健全育成に努めていきます。引き続き、お子様の学校生活に対するご心配やご相談など、お気軽にお声かけをいただければと存じます。

全体を通して

本校の教育活動について、保護者の皆様には温かい励ましの評価をいただき、心より感謝申し上げます。本年度は、昨年度に比べ、どの項目も保護者の皆様のポイントが下がっていることを真摯に受け止め、来年度の教育活動を一層充実させていかなければならないと考えております。ゲストティーチャー等の講師を招いた活動が広く周知できない点も踏まえ、情報発信を再整備していきます。また、教員の自己評価が全ての項目であがっています。チームとして支え合いながら全児童を見守っていきけるようにさらに学校体制を強化して、教育活動を進めていきます。これからも子供たちの健やかな成長を支援するよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学校関係者評価委員の皆様からの自由意見

Q：体育着の校章の色が男女で違うが、男女平等の点からも色の統一がなくすることはできないか。

A：平成31年度に向けて検討する。

Q：児童アンケートには自由記述欄はあるのか。

A：他の調査(いじめ・体罰等)では、自由記述欄を設けて記述させている。

Q：自由記述の内容をどのように活用しているのか。

A：疑問点や気になる記述に対しては、個別に聞き取りを行い問題解決につなげている。